

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪健康ほいく専門学校
設置者名	学校法人 村川学園

○「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
福祉専門課程	保育科		960 時間	160 時間	
	初等教育科		1080 時間	320 時間	
(備考)					

※記入欄は、必要に応じて、追加・統合可。

○「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

職員室で保管し、閲覧希望があった場合は一般に公開している。

○要件を満たすことが困難である学科

学科名 該当なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪健康ほいく専門学校
設置者名	学校法人 村川学園

○理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公開。掲載（事業報告書内）： http://fukushi996.ac.jp/hoiku/data/report.pdf

○学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	オーナーパティシエ	2019.5 ~ 2021.5	マネジメント 就職 教育課程編成 企画・調整
非常勤	商店街 理事長 時計店 代表取締役	2019.5. ~ 2021.5	マネジメント 企画・調整 内部統制
非常勤	学校法人 評議員 留学生さとおやの会 会員	2019.5. ~ 2021.5	教育課程編成 社会福祉 国際交流
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	大阪健康ほいく専門学校
設置者名	学校法人 村川学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>①授業計画（シラバス）の作成過程</p> <p>学内組織の事務局（教務担当）主体で、カリキュラム編成会議を定期的に複数回実施し、教育課程の見直し、土台を作成している。</p> <p>主には、体系化した教育課程内容となっているか、実習と学科授業との連携体制がとれているか、産学接続型プログラムなどに重点をおいた教育課程となっているか、学生の理解度を高める授業内容となっているかに重点をおいて作成をしている。</p> <p>また、年2回（平成30年度1月・3月）実施している教育課程編成委員会により、作成した教育課程の確認と産業界及び地域の事業者等からの意見の吸い上げを行っている。</p> <p>当該職業の実務に関し豊富な経験を有するメンバーからは、主に技術面や、広い視野での福祉・教育の業界からのニーズなどを中心に意見を出してもらい、実習先等の協力施設のメンバーからは、就職先を意識した教育課程の必要性などの意見をもらい、地域関連のメンバーからは、地方創生の観点からの意見が出ることを想定している。</p> <p>②授業計画の作成・公表時期</p> <p>教育課程編成委員会の意見を踏まえ、シラバス作成ガイドラインに基づき、年度末に作成している。また、公表時期については、毎年4月の入学時オリエンテーションまでに行う予定である。</p>	
授業計画表の公表方法	職員室で保管し、閲覧希望があった場合は一般に公開している。

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

「履修認定の方針について」

(授業履修の手引き第1章 成績に記載)

以下の方法で成績評価を行い、合格した科目について、履修認定を行っている。

(1) 成績評価

1. 学科科目評価

学科定期試験結果に平常点を加味し、総合的に評価する。

① 各科目の総合点を5～1（5が最も理解度が高い、2までが合格、1は不合格）の5段階で評価する。（評価方式は絶対評価にて行うものとする。）

成績評価	点数
5	100～90
4	89～80
3	79～70
2	69～60
1	59～0
0	未受験又は不履修

② 成績評価は前期試験、後期試験の総合成績評価(平均)が2以上を合格とする。半期のみの科目はそれぞれで2を合格とする。2未満は不合格(欠点)となり当該科目は評価されない。

③ 本試験での欠点の者は、希望した場合、所定の再試験料を納付の上、再試験を受験することが出来る。再試験で合格点を取るにより評価される。

④ 再試験での欠点の者は、希望した場合、所定の再々試験料を納付の上、再々試験を受験することが出来る。再々試験で合格点を取るにより評価される。

⑤ 再々試験での欠点の者は、希望した場合、所定の確定試験料を納付の上、確定試験を受験することが出来る。確定試験で合格点を取るにより評価される。確定試験で欠点の者は卒業不可となる。

未受験（総合成績評価0）の場合、欠席した理由が、学校が定める理由による欠席もしくは、病気による欠席に該当するものは、その事実を証明する証明書等を提出し、学校長が認めた場合に限り、追試験を受験することができる。

2. 実習科目評価

実習科目は、本校実習指導（実習事前学習、実習中の巡回指導、事後指導）の評価とする。

すこやか実習、校外実習の評価は実習先施設の評価とする。

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科目の到達目標や成績表評価に関する事項をシラバスに記載すると共に科目ごとに課す試験・レポート・実技試験、実習における評価、出席状況、授業態度を総合的に評価する。</p> <p>客観的な指標の算出方法については、閲覧、学生掲示板、保護者通信で公表をしている。</p> <p>本校は学生の主体的な学修を推進するために各定期試験終了後に成績通知を行い、成績通知については、以下の算出方法で学科ごとの順位付けを行うものとする。</p> <p>また、学生の成績がどのように分布しているかの分布図を掲示板で学生に公表をしている。</p> <p>個々の学生の履修状況を専任教員全員で共有し、個別指導を行う。</p> <p>(順位付けの算出方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期期末試験終了時、成績評価(5段階評価)全科目の合計点を算出し、学科ごとに順位付けを行う。 ・後期期末試験終了時、前期の成績評価(5段階評価)後期の成績評価(5段階評価)全科目の合計点を算出し、学科ごとに順位付けを行う。 <p>合わせて、成績分布(総合評価)も学科ごとに提示する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	職員室で保管し、閲覧希望があった場合は一般に公開している。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

以下のような人材を育成するために、修得すべき能力を身につけ、学則で定める所定の卒業要件を満たしたものを卒業と認定する。

「大阪健康ほいく専門学校 ディプロマポリシー」

(授業履修の手引き第4章教育ポリシーに記載)

[養成する人材像]

① 保育科

広い視野を持ち、社会人としての倫理観と高い品性を有し、人々のニーズを敏感に受け止め、福祉人・教育者として社会に貢献する人材

② 初等教育科

保育や福祉、幼児教育、小学校の活動を通じて、関心・意欲・態度・思考力・技術を習得し、積極的に社会に参画し、問題解決していくことのできる人材

[修得すべき能力]

① 保育科

- ・保育、福祉、幼児教育の深い知識と高度な技術
- ・現代社会の人々の生活問題を洞察し、人々に寄り添いチームの一員として問題解決できる能力

② 初等教育科

- ・保育、福祉、幼児教育の深い知識と高度な技術
- ・福祉人、教育者として社会の取り巻く歴史背景を学び、現代社会において問題解決できる能力

卒業の認定に関する方針の公表方法

職員室で保管し、閲覧希望があった場合は一般に公開している。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の開示（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪健康ほいく専門学校
設置者名	学校法人 村川学園

○財務諸表等

財務諸表等	開示方法
貸借対照表	ホームページ上に公開している。掲載（事業報告書内）： http://fukushi996.ac.jp/hoiku/data/report.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

○教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育社会福祉		福祉専門	保育科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間/単位	615 時間	720 時間	360時 間	時間	15 時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		106人	人	10人	31人	41人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>①授業計画（シラバス）の作成過程</p> <p>学内組織の事務局（教務担当）主体で、カリキュラム編成会議を定期的に複数回実施し、教育課程の見直し、土台を作成している。</p> <p>主には、体系化した教育課程内容となっているか、実習と学科授業との連携体制がとれているか、産学接続型プログラムなどに重点をおいた教育課程となっているか、学生の理解度を高める授業内容となっているかに重点をおいて作成をしている。</p> <p>また、年2回（平成30年度1月・3月）実施している教育課程編成委員会により、作成した教育課程の確認と産業界及び地域の事業者等からの意見の吸い上げを行っている。</p> <p>当該職業の実務に関し豊富な経験を有するメンバーからは、主に技術面や、広い視野での福祉・教育の業界からのニーズなどを中心に意見を出してもらい、実習先等の協力施設のメンバーからは、就職先を意識した教育課程の必要性などの意見をもらい、地域関連のメンバーからは、地方創生の観点からの意見が出ることを想定している。</p> <p>②授業計画の作成・公表時期</p> <p>教育課程編成委員会の意見を踏まえ、シラバス作成ガイドラインに基づき、年度末に作成している。また、公表時期については、毎年4月の入学時オリエンテーションまでに行う予定である。</p>
成績評価の基準・方法

(概要)

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

各科目の到達目標や成績表評価に関する事項をシラバスに記載すると共に科目ごとに課す試験・レポート・実技試験、実習における評価、出席状況、授業態度を総合的に評価する。

客観的な指標の算出方法については、閲覧、学生掲示板、保護者通信で公表をしている。

本校は学生の主体的な学修を推進するために各定期試験終了後に成績通知を行い、成績通知については、以下の算出方法で学科ごとの順位付けを行うものとする。

また、学生の成績がどのように分布しているかの分布図を掲示板で学生に公表をしている。

個々の学生の履修状況を専任教員全員で共有し、個別指導を行う。

(順位付けの算出方法)

・前期期末試験終了時、成績評価(5段階評価)全科目の合計点を算出し、学科ごとに順位付けを行う。

・後期期末試験終了時、前期の成績評価(5段階評価)後期の成績評価(5段階評価)全科目の合計点を算出し、学科ごとに順位付けを行う。

合わせて、成績分布(総合評価)も学科ごとに提示する。

卒業・進級の認定基準

(概要)

以下のような人材を育成するために、修得すべき能力を身につけ、学則で定める所定の卒業要件を満たしたものを卒業と認定する。

「大阪健康ほいく専門学校 ディプロマポリシー」

(授業履修の手引き第4章教育ポリシーに記載)

[養成する人材像]

広い視野を持ち、社会人としての倫理観と高い品性を有し、人々のニーズを敏感に受け止め、福祉人・教育者として社会に貢献する人材

[修得すべき能力]

・保育、福祉、幼児教育の深い知識と高度な技術

・現代社会の人々の生活問題を洞察し、人々に寄り添いチームの一員として問題解決できる能力

学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・附属の幼保連携型「すこやか認定こども園」での事例を教材として授業に取り入れることで、教科書で学ぶことと、現場で起きていることを関連付けながら授業を進めている。また、独自科目すこやか実習は週1回「すこやか認定こども園」にて実習を行っている。実習日誌、指導案は現場の保育士による添削を行っている。 ・担任による相談受付や面談、進路指導、定期的に授業アンケートをとり、学生からの声を反映しながら学習支援を行っている。 ・就職学生支援は、学生個々の性格や希望を把握している担任教員が、就職指導教員と協力し、情報交換しながら一人ひとりの学生への的確な指導ができるよう配慮している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
56人 (100%)	0人 (%)	55人 (%)	1人 (%)
（主な就職、業界等） ほか 貝塚市 保育所、熊取西保育所、鳳幼稚園、堺めぐみ学園、（社福）恵壽会 東岸和田こども園、（社福）育和白鷺学園、紀ノ川保育園 他 （就職指導内容）就職ガイダンス実施、学内企業説明会開催、履歴書添削、就職面談、模擬面接 ほか			
（主な学修成果（資格・検定等）保育士 100%、幼稚園教諭二種 62.5%、			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
123人	11人	8.9%
（中途退学の主な理由） 学業成績不良、経済的理由、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 補講授業の実施、各種教育ローンの紹介、定期面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育社会福祉		福祉専門	初等教育科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3405 単位時間/単位	540時 間	2505時 間	360時 間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		18人	0人	11人	31人	42人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>①授業計画（シラバス）の作成過程</p> <p>学内組織の事務局（教務担当）主体で、カリキュラム編成会議を定期的に複数回実施し、教育課程の見直し、土台を作成している。</p> <p>主には、体系化した教育課程内容となっているか、実習と学科授業との連携体制がとれているか、産学接続型プログラムなどに重点をおいた教育課程となっているか、学生の理解度を高める授業内容となっているかに重点をおいて作成をしている。</p> <p>また、年2回（平成30年度1月・3月）実施している教育課程編成委員会により、作成した教育課程の確認と産業界及び地域の事業者等からの意見の吸い上げを行っている。</p> <p>当該職業の実務に関し豊富な経験を有するメンバーからは、主に技術面や、広い視野での福祉・教育の業界からのニーズなどを中心に意見を出してもらい、実習先等の協力施設のメンバーからは、就職先を意識した教育課程の必要性などの意見をもらい、地域関連のメンバーからは、地方創生の観点からの意見が出ることを想定している。</p> <p>②授業計画の作成・公表時期</p> <p>教育課程編成委員会の意見を踏まえ、シラバス作成ガイドラインに基づき、年度末に作成している。また、公表時期については、毎年4月の入学時オリエンテーションまでに行う予定である。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）</p>

<p>各科目の到達目標や成績表評価に関する事項をシラバスに記載すると共に科目ごとに課す試験・レポート・実技試験、実習における評価、出席状況、授業態度を総合的に評価する。</p> <p>客観的な指標の算出方法については、閲覧、学生掲示板、保護者通信で公表をしている。</p> <p>本校は学生の主体的な学修を推進するために各定期試験終了後に成績通知を行い、成績通知については、以下の算出方法で学科ごとの順位付けを行うものとする。 また、学生の成績がどのように分布しているかの分布図を掲示板で学生に公表をしている。</p> <p>個々の学生の履修状況を専任教員全員で共有し、個別指導を行う。</p> <p>(順位付けの算出方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期期末試験終了時、成績評価(5段階評価)全科目の合計点を算出し、学科ごとに順位付けを行う。 ・後期期末試験終了時、前期の成績評価(5段階評価)後期の成績評価(5段階評価)全科目の合計点を算出し、学科ごとに順位付けを行う。 <p>合わせて、成績分布(総合評価)も学科ごとに提示する。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>以下のような人材を育成するために、修得すべき能力を身につけ、学則で定める所定の卒業要件を満たしたものを卒業と認定する。</p> <p>「大阪健康ほいく専門学校 ディプロマポリシー」 (授業履修の手引き第4章教育ポリシーに記載)</p> <p>[養成する人材像]</p> <p>保育や福祉、幼児教育、小学校の活動を通じて、関心・意欲・態度・思考力・技術を習得し、積極的に社会に参画し、問題解決していくことのできる人材</p> <p>[修得すべき能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育、福祉、幼児教育の深い知識と高度な技術 ・福祉人、教育者として社会の取り巻く歴史背景を学び、現代社会において問題解決できる能力
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・附属の幼保連携型「すこやか認定こども園」での事例を教材として授業に取り入れ

ることで、教科書で学ぶことと、現場で起きていることを関連付けながら授業を進めている。また、独自科目すこやか実習は週1回「すこやか認定こども園」にて実習を行っている。実習日誌、指導案は現場の保育士による添削を行っている。

・担任による相談受付や面談、進路指導、定期的に授業アンケートをとり、学生からの声を反映しながら学習支援を行っている。

・・就職学生支援は、学生個々の性格や希望を把握している担任教員が、就職指導教員と協力し、学生への的確な指導ができるよう配慮している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) なし			
(就職指導内容) 就職ガイダンス実施、学内企業説明会開催、履歴書添削、就職面談、模擬面接 ほか			
(主な学修成果 (資格・検定等)) なし			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	7人	35%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補講授業の実施、各種教育ローンの紹介、定期面談の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
保育科 (1年次)	200,000 円	800,000 円	200,000 円	
保育科 (2年次)	—	750,000 円	200,000 円	
初等教育科 (1年次)	200,000 円	800,000 円	200,000 円	
初等教育科 (2年次)	—	750,000 円	200,000 円	
初等教育科 (3年次)	—	700,000 円	200,000 円	
初等教育科 (4年次)	—	700,000 円	200,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法													
公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 前年度評価について、学校ホームページで公開している。 http://fukushi996.ac.jp/hoiku/data/check.pdf													
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制含む）													
<p>自己点検・評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者から専門的な助言を得るため、外部評価を実施する機関として委員会を組織。関係教職員との意見交換等を通して、本校の学校運営・教育活動について検証・評価及び助言を行うことを目的とする。</p> <p>〔主な評価項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入れ募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 <p>〔評価委員会の構成〕</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">外部委員選出区分</th> <th style="text-align: center;">定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①企業等評価委員</td> <td style="text-align: center;">1以上</td> </tr> <tr> <td>②卒業生</td> <td style="text-align: center;">1以上</td> </tr> <tr> <td>③保護者または④地域住民</td> <td style="text-align: center;">1以上</td> </tr> <tr> <td>⑤高校等評価委員</td> <td style="text-align: center;">1以上</td> </tr> <tr> <td>⑥学校運営に関する専門家または⑦地域地方公共団体関係者または⑧当該分野における評価の専門家</td> <td style="text-align: center;">1以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔評価結果の活用方法〕</p> <p>学校関係者評価委員会は年2回実施する。</p>		外部委員選出区分	定数	①企業等評価委員	1以上	②卒業生	1以上	③保護者または④地域住民	1以上	⑤高校等評価委員	1以上	⑥学校運営に関する専門家または⑦地域地方公共団体関係者または⑧当該分野における評価の専門家	1以上
外部委員選出区分	定数												
①企業等評価委員	1以上												
②卒業生	1以上												
③保護者または④地域住民	1以上												
⑤高校等評価委員	1以上												
⑥学校運営に関する専門家または⑦地域地方公共団体関係者または⑧当該分野における評価の専門家	1以上												

<p>自己点検評価を元に外部委員から構成される学校関係者評価委員会を実施し、その意見の吸い上げを行う。</p> <p>評価内容は理事会、校務会議などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
社会福祉法人泉州三和会幼保連携型 認定こども園信太保育園園長	2018年4月～2020年3 月	企業等評価委員
社会福祉法人ここの家施設長	2018年4月～2020年3 月	企業等評価委員
同窓会	2019年4月～2020年3 月	卒業生
保護者会	2018年4月～2020年3 月	保護者
保護者会	2018年4月～2020年3 月	保護者
元 常磐会学園大学 学長	2018年4月～2020年3 月	高校等評価委員
大阪府立久米田高校	2019年4月～2020年3 月	高校等評価委員
学校法人宣真学園 宣真高等学校校 長	2019年4月～2020年3 月	高校等評価委員
泉大津市総合政策部地域経済課総括 主査	2019年4月～2020年3 月	地域地方公共団体関 係者
学校関係者評価結果の公表方法		
<p>公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法</p> <p>前年度評価について、学校ホームページで公開している。</p> <p>http://fukushi996.ac.jp/hoiku/data/assessment.pdf</p>		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

<p>公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法</p> <p>http://www.daicho.ac.jp</p>
--